

今年度の特記事項

1.2020年度に発生した利用者死亡事故について

2021年3月10日未明に起きたご利用者の傷害致死事件について、2022年1月17日に警視庁による「他ご利用者の行為による事件」との捜査結果が示されるまでの約10カ月、延べ312日に渡り、泉苑に対し、ほぼ毎日警視庁による捜査が継続して行われてきた。職員への事情聴取・記録類の提出要請・現場検証等の捜査への対応に追われ、これまでそのような事とは全く無縁だった泉苑にとって施設運営に大きな支障をきたすこととなった。また、この間の特別養護老人ホーム新規入所受け入れを自粛してきたことで、結果的に年間稼働率は79.4%と大きく落ち込む結果となった。

2.東京都による実地指導及び監査について

2021年7月26日に東京都及び府中市による実地検査が実施された。実地検査後に東京都により法人役員・府中市内三施設対象としたアンケート調査が行われ、これらの結果から2021年12月14日に監査が実施された。実地検査及び監査についての結果通知はまだ受け取っていないままに年度末となった。

3.事故、東京都からの指導・監査からの学びとその後の取り組み

上記事故への捜査・都のアンケート結果の概要等から、泉苑が現在抱えている課題や不足していること等が見えてきた。「新たな泉苑」へと生まれ変わることを目指し、2022年度に向けた改善計画を策定した。“ご利用者にその方らしく暮らしていただく”ことを目的とし、丁寧に向き合うための適切な人員配置のための利用者数の調整、事件・事故を未然に防ぐための防犯対策、ご利用者に快適に生活していただくための環境改善等、職員が漠然と捉えていた「変えていかなければならないこと」を直視せざるを得なくなった状況の中、次年度計画は具体的な取り組みに向けて歩みだすことが出来た。

4.新型コロナウイルス対応

2021年5月16日に職員1名の新型コロナウイルス感染が確認され、感染対策に必死で取り組み、6月16日収束した。連日オンラインで臨時感染症対策会議を実施し、泉苑全部署が参加してリアルタイムで対応を協議した。決定事項を共有するため、会議録をグループウェア上で共有し、対応策の徹底を図り、法人内他施設からの応援も受けながら、感染拡大防止に努め、最終的にご利用者10名・職員7名の感染が発生したが、クラスター化することなく、ほぼ3階北エリアでの感染のみに抑えることが出来た。

5.職員一人一人が力を発揮し、日々の業務に取り組んだ

このような過酷な状況下での1年間だったが、常勤職員（71名）のうち退職者は正職員2名・準職員2名と例年と比べ少なく、改めて職員の頑張りで乗り切った一年であったことを再認識した。厳しい状況の中、各職員が情報共有・連携の重要性を認識し、その上で自主性を発揮しながら行った業務での気づきはとても大きな収穫であった。

6.3か年計画の総括

コロナ対策・事故等への対応等、3年前には想定していなかった様々な事態の発生を受け、入所調整の円滑化やボランティア関連の取り組みや地域との連携の動きなど、予定通りには進められなかった計画もあった。その一方でICTを軸として利用者状況の把握や外部とのやり取りなどについては上記への対応を機に更にスキル向上できた部分もあった。泉苑の「発生した状況に合わせ、柔軟に対応する力」を発揮できた結果であると考えている。